

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 大牟田市立上内小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等教育学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )

住所 〒837-0902  
福岡県大牟田市大字上内1575-1

E-mail : kamiuchi-es@st.city.omuta.fukuoka.jp

Website : \_\_\_\_\_

児童生徒数：男子 27名 女子 29名 合計 56名  
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

1 活動および主題名 「上内のホタルを守ろう」

2 実施学年 第3、4学年 16名

3 活動の目的

- ◇ ホタルの生態や飼育方法などを調べて、育てる。
- ◇ 地域の方からホタルのことや水環境の現状、守るための苦労や工夫等を学び、ホタルが飛び交う上内の自然を守ろうとする態度を育てる。
- ◇ 自分たちの調べたことを伝える対象を設定し、効果的に表現する工夫をする方法を身につける。

4 活動の実際

(1) テーマの設定【4月～5月】

○概要 上内の地域にはホタルが生息することを家族や地域の方にたずね、ホタルの体やホタルの一生について調べ、ホタルを生育することに対するの関心を持つ。

○活動の内容

- ①上内の地域にはホタルが生息していることを確認し、知っていることを出し合う。
- ②本やインターネットを使って、ホタルの体のつくりや一生の変化について調べたことをまとめ、学級で発表する。
- ③ホタルについて地域の方にたずねる方法を考え、礼儀正しくインタビューする。
- ④これから自分たちが勉強したいことをまとめ、総合的な学習のテーマに設定する。

(活動テーマ)

**上内をふたたびホタルが飛び交う地域にしよう**

(2) ホタルが育つために必要なことを調べる【6月～10月】

○概要 ホタルを採って、卵を産ませ、幼虫を育てるために必要な事柄を調べて、実際に飼育する活動を通して、ホタルの生育に必要な環境条件を把握する。

○活動の内容

- ①以前から地域に住んでいる方をゲスト・ティーチャーに招いて、実際にどこでホタルを採ったりできるか、またどう育てればいいのか話を聞いたり、質問したりする。
- ②ホタル観察会を開いて、ホタルを採って育てる。
- ③地域の川の汚れ具合を調べ（パックテスト）ホタルがいる川のひみつを調べ、上内ホタルマップを作成する。
- ④ホタルの卵から幼虫になって育つ様子を観察する。
- ⑤ホタルの様子を全校のみんなに知らせる。

(3) ふたたびホタルが飛び交う上内の地域にしよう【11月～1月】

○概要 ふたたびホタルの飛び交う地域にするために何をすればいいのかを話し合い、学校、地域、市内に知らせ、きれいな川を守ろうと呼びかける。

○活動の内容

- ①大きくなったホタルの幼虫が成虫となり、ふたたび地域の川で飛び交うことを願って、放流する。

- ②夏になって、放流したホタルが飛び交うことができるように、川をきれいにしてほしいと学校のみんなや地域の方に呼びかける。
- ③これまでに活動してきたことまとめ、劇に表現する。
- ④これまでの活動を振り返り、今後自分が取り組んでいきたいことをまとめる。

## 5 成果と課題

### (1) 成果

- 子どもたちが、地域の自然について関心を持ち、実際に川で生き物をつかまえたり、パックテストを行ったりして、上内の地域の川は汚れが少なくホタルが生息するのに適した環境であるということを具体的な調査を通して実感できた。このことから、自分たちの地域は恵まれた環境にあるということを理解し、郷土を愛する気持ちを育てることができた。
- 自分たちだけで調べてもよく分からない部分は、地域の方を招いて質問することができた。その中で地域の方も川をきれいにするために様々な活動を行っていることを知り、自分たちが行っている活動に自信を持って取り組めた。
- 調べ活動、インタビュー活動、劇やチラシへの表現活動を身につけることができた。今後の自分たちの学習に生かせるスキルを伸ばすことができた。

### (2) 課題

- 川の調査やホタルの採集など、子どもだけで行わせるには安全面に不安が残った。子ども家族などの協力も呼びかける必要があった。
- 今回は市内の発表会や校内の学習発表会などの機会を得た。地域の方に呼びかけるには公民館やお世話になった方へ知らせる方法も考えられる。
- ホタルの飼育では、コロナをえさにするために小さく輪切りにして与えたり、気温によって水槽を冷却したり、長期休業中の世話などで中学年の子どものみでは難しい部分がある。



孵化したホタルの幼虫の観察



地域の方へホタル新聞の配布

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）